

チャレンジする Someone NEWS

～挑戦者の履歴書

第24回

沼波勇一氏(革新の篤志者、故人)

— エコミュージアムとしての地域資源を遺す

一般社団法人 洗楓座 代表理事 佐藤建吉

連載

▼千葉県いすみ市岬町

筆者は、千葉県いすみ市岬町に、千葉市から引っ越してもう28年近くになる。千葉県の外房と呼ばれるところで、太平洋の潮騒が聞こえる海里でもあり、夷隅川の川里でもあり、田畑が広がる。コロナで地方への移住や都市との二地域居住が意識され実行する人も増えてきた。筆者は、それを進める意味で、本紙にも自身の話題を書いている。

写真2：沼波勇一氏と長女



この地は、いま洋上風力発電の候補地としても話題になっている。その証拠には、わが家から風況測定のマストが5本も建っている。海辺から3キロ沖合に着床式の洋上風車が考えられている。千葉県で、銚子市沖合の洋上風力に続いて次世代

▼宮本百合子の石碑

この地は、いま洋上風力発電の候補地としても話題になっている。その証拠には、わが家から風況測定のマストが5本も建っている。海辺から3キロ沖合に着床式の洋上風車が考えられている。千葉県で、銚子市沖合の洋上風力に続いて次世代

この地は、いま洋上風力発電の候補地としても話題になっている。その証拠には、わが家から風況測定のマストが5本も建っている。海辺から3キロ沖合に着床式の洋上風車が考えられている。千葉県で、銚子市沖合の洋上風力に続いて次世代

写真1：宮本百合子の石碑



この地は、いま洋上風力発電の候補地としても話題になっている。その証拠には、わが家から風況測定のマストが5本も建っている。海辺から3キロ沖合に着床式の洋上風車が考えられている。千葉県で、銚子市沖合の洋上風力に続いて次世代

写真3：長者町で過ごした宮本百合子(中央)



この地は、いま洋上風力発電の候補地としても話題になっている。その証拠には、わが家から風況測定のマストが5本も建っている。海辺から3キロ沖合に着床式の洋上風車が考えられている。千葉県で、銚子市沖合の洋上風力に続いて次世代

写真4：整理開架された宮本百合子の関連書籍



この地は、いま洋上風力発電の候補地としても話題になっている。その証拠には、わが家から風況測定のマストが5本も建っている。海辺から3キロ沖合に着床式の洋上風車が考えられている。千葉県で、銚子市沖合の洋上風力に続いて次世代

写真5：沼波勇一氏と姉妹



この地は、いま洋上風力発電の候補地としても話題になっている。その証拠には、わが家から風況測定のマストが5本も建っている。海辺から3キロ沖合に着床式の洋上風車が考えられている。千葉県で、銚子市沖合の洋上風力に続いて次世代